

## 地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和6年5月31日

提出区分	実績	整理番号	5	課題区分	C
横断的な課題	伝統を守り未来を見据えた持続可能な地域づくり				
地域重点政策	伝統を守り未来を見据えた持続可能な地域づくり				
実施機関	南信州地域振興局			担当課	所属 リニア活用・企画振興課
事業名	民俗芸能パートナー企業制度を活用した民俗芸能保存・継承事業			電話	8-237-2316
				E-mail	minamichi-kikaku@pref.nagano.lg.jp
事業の概要等	目的 (目指す姿)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ユネスコ無形文化遺産登録となった風流踊をはじめ、当地域に存在する多くの民俗芸能を地域内外で周知することで、保存・継承に向けた機運の向上につなげる。</li> <li>・南信州民俗芸能パートナー企業制度を活用し、民俗芸能団体への支援の促進を図る。</li> </ul>			
	現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南信州地域は多くの民俗芸能が継承されており、「民俗芸能の宝庫」と呼ばれている。</li> <li>・平成28年度から「南信州民俗芸能パートナー企業制度」を立ち上げ、企業の民俗芸能団体に対する支援は増加傾向にある。しかし、当制度の保存団体や地域への認知向上にはさらなる努力が必要である。また、より多く方への理解促進のためにも、継続的な制度周知、パートナー企業募集が必要である。</li> <li>・令和4年11月に全国の国指定重要無形民俗文化財41件が、「風流踊」としてユネスコ無形文化遺産に登録された。(本県では「跡部の踊念仏(佐久市)」、「和合の念仏踊り」、「新野の盆踊り」(阿南町)の計3件)</li> <li>・南信州地域にとって民俗芸能はリニア時代の地域づくりに活かすべき貴重な資産であり、ユネスコ登録を契機に地域全体での保存・継承への機運が高まることが期待される。</li> <li>・昨年度は南信州民俗芸能フェスティバルを開催し、会場にパネルを展示した。フェスティバルは会場収容人数の上限(300人)まで集客することができ、風流踊やその他南信州民俗芸能について周知することができた。</li> </ul>			
	内容 (変更後の内容)	<p>○南信州民俗芸能パネル巡回展の実施 令和4年11月のユネスコ登録により民俗芸能への興味・関心が今まで以上に高まっている。さらに興味・関心を持つ人やファンを増やすため、南信州民俗芸能パネルの巡回展示を地域内外の様々な場所で実施し、保存・継承へとつなげていくため、今回展示パネルを増刷する。</p> <p>1 展示場所 市町村役場、飯田市美術博物館、銀座NAGANO、各種イベント(丘のまちフェスティバル、南信州民俗芸能フェスティバル)等 2 スケジュール ①市町村役場: 令和5年8月から阿南町役場から始まり、4町村ほどを巡回予定 ②飯田市美術博物館: 6月中旬から8月下旬まで ③銀座NAGANO: 令和5年7月中旬頃から1か月程度を予定 3 各展示場所での設置パネル枚数 2~3枚程度を予定</p> <p>○南信州民俗芸能パートナー企業新規登録式の実施 コロナウイルスによる行動制限が解除され、今年度は各地で民俗芸能活動が実施(再開)された。上記パネル巡回展、講演会実施等の影響もあり、企業側から支援したいとの声が寄せられ、新たにパートナー企業として登録することとなった。南信州民俗芸能パートナー企業登録式を行い、南信州民俗芸能の保存・継承への機運を一層高める。</p>			
事業期間	令和5年7月		~	令和6年3月	
事業費等	(単位:円)				
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画額	備考	
	掲示物等制作費用	展示パネルの増刷	22,550	パネル3枚 (税込み2枚17,600円+1枚4,950円)	
	運搬費	展示パネルの運搬	7,338	飯田合庁、銀座NAGANO間の往復郵送費	
	パートナー企業登録式費用	協定書等の作成	21,851	協定書ホルダー5冊 740円×5=3,700円(税込み4,040円) アクリルフレーム5つ 3,233円×5=16,165円(税込み17,781円)	
合計			51,739		
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況
	・南信州民俗芸能ファンクラブ登録者数の前年度比増加数(現在133人が登録)		13人増(約10%増)	36名増	達成

事業実績・成果	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年7月から2月にかけて、銀座NAGANO、下伊那郡内の4町村、丘のまちフェスティバル、第2回南信州民俗芸能フェスティバル、赤門スクール等にてパネルを展示した。</li> <li>・各種イベント開催に合わせてパネル展示を行ったことで、イベント参加者を中心に計36名の新規ファンクラブ会員獲得につながった。</li> </ul> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パネル巡回展や各種イベントを通じて、民俗芸能の情報発信を行ったことにより、南信州民俗芸能パートナー企業登録を希望する声があった。R5年度は計5社の新規登録となった。</li> <li>・パネル展の様子は南信州新聞(南信州新聞社はパートナー企業)にて取り上げられ、飯田下伊那郡の多くの住民に民俗芸能保存継承に関する活動を周知できた。</li> </ul>
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度以降は飯田下伊那内の市町村役場での展示を継続する。</li> <li>・より多くの住民の目に触れるよう、パートナー企業店舗での展示も検討する。</li> </ul>